

主題：聖書の心臓部——ガラテヤ、エペソ、ピリピ、コロサイ

メッセージ 16

コロサイ人への手紙（４）

神のエコノミーの奥義

聖書：ローマ 16:25. コロサイ 1:26-27. 2:2. 4:3. エペソ 1:9. 3:3-5, 9. 5:32

- I. 聖書の中の基本的な啓示とは、神の奥義を明らかにして、光へともたらすことです。こういうわけで、聖書は奥義の啓示について語っているのです——ローマ16:25. エペソ3:3-5。
- II. 聖書の中には、五つの偉大な奥義があります：
- A. 宇宙の奥義は神です。神が宇宙の意義と目的です——創 1:1. 啓 4:11. エペソ 3:9。
 - B. 人の奥義もまた神です——創 1:26. ゼカリヤ 12:1. I コリント 2:11。
 - C. 神の奥義はキリストです——コロサイ 2:2。
 - D. キリストの奥義は召会です——エペソ 3:4. コロサイ 4:3。
 - E. 召会の奥義は、キリストの有機体である、キリストの拡大としてのキリストのからだです——エペソ 1:22-23. 4:4, 16. 5:30, 32。
- III. コロサイ人への手紙とエペソ人への手紙において、「奥義」は極めて重要な言葉です——コロサイ 1:26-27. 2:2, エペソ 3:3-5, 9. 5:32：
- A. 永遠において、神はみこころを計画しましたが、それは彼の中に隠されていました。このゆえに、それは奥義（彼のみこころの奥義）でした——エペソ 1:9。
 - B. 神の隠された御旨は奥義であり、ミングリングされた霊の中でこの奥義を明らかにすることは、奥義の啓示です—— 3:3, 5。
 - C. 神の奥義は彼の隠された御旨であり、この奥義と共にエコノミー、すなわち奥義のエコノミーがあります—— 3:9。
 - D. キリストは奥義です。また召会は、キリストを表現するキリストのからだとして、キリストの奥義です—— 3:4, コロサイ 4:3。
 - E. キリストと召会が一つ霊であるのは、偉大な奥義です—— I コリント 6:17, エペソ 5:32。
- IV. わたしたちに内住するすべてを含むキリストは、神のエコノミーの奥義です——コロサイ 1:26-27：
- A. 神の新約エコノミーは、大きな車輪のようであり、そのすべての部分にキリストを持っています。すなわち、彼は神聖なエコノミーの車軸（中心）、スポーク（支え）、輪縁（円周）です——エゼキエル 1:15. コロサイ 1:17 後半, 18 後半：
 - 1. 神のエコノミーにおける神の意図は、キリストを彼の選ばれた民の中へと造り込むことです。それはキリストがすべてとなり、すべての中におられるようになるためです—— 3:10-11. ガラテヤ 1:16 前半. 2:20. 4:19。
 - 2. キリストは神聖なエコノミーの奥義、秘訣、重要な焦点です。これが意味するのは、三一の神が彼の選ばれた民の中へと分与することの秘訣が、キリストご自身であるということです——コロサイ 1:25-28, 17 後半, 18 後半. 2:9。
 - B. 各時代にわたって、また各世代にわたって隠されてきた奥義は、聖徒たちに明らか

にされました。この奥義は、内住する栄光の望みとしてのすべてを含むキリストです—— 1:26-27 :

1. わたしたちの召しの望みとは、栄光の望みです。栄光の望みとは、わたしたちの体の変貌であり、神の子たちの出現です——エペソ 1:18 後半. 4:4 後半. ローマ 8:19, 23-25, 30. ピリピ 3:21。
2. わたしたちの内側に内住するキリストは、栄光に満ちた奥義であり、数えきれない豊富を伴っています。わたしたちは、神の栄光の豊富にしたがって内なる人の中へと増強されつつあります。その神の栄光の豊富は、わたしたちの中へと造り込まれつつあります——エペソ 3:8, 14-17 前半。
3. 神のエコノミーの奥義としてのキリストは、栄光の望みとしてわたしたちに内住しており、神の完全な表現へと至ります——Ⅱコリント 3:18. 啓 21:10-11。

V. 偉大な奥義とは、キリストと召会です——エペソ 5:32 :

A. 神の奥義は、かしらなるキリストです—— 1:22. コロサイ 1:18 :

1. 神の奥義として、キリストは神の歴史です。神のすべての「物語」はキリストの中にあり、キリストです——ヨハネ 1:14. I コリント 15:45 後半. 啓 5:5。
2. 神の奥義として、キリストは、神の定義、説明、表現である神の言です——ヨハネ 1:1. 啓 19:13. コロサイ 2:2-3。

B. キリストの奥義は、召会、キリストのからだです——エペソ 3:3-5 :

1. 神の具体化であるキリストは、神の表現です。また召会は、キリストのからだとして、キリストの表現です—— 1:22-23。
2. 神のエコノミーにおいて、奥義は奥義を生み出します。神の奥義であるキリストは、キリストの奥義である召会を産み出します——コロサイ 2:2. 4:3。
3. 神の永遠の定められた御旨における隠された奥義として、召会は奥義の中の奥義です。なぜなら、召会是一个の奥義の第三段階であるからです——エペソ 3:4, 9, 11 :
 - a. 第一段階は、宇宙の奥義としての神です。第二段階は、神の奥義としてのキリストです。第三段階は、キリストの奥義としての召会です——ヨハネ 1:18. コロサイ 2:2. 4:3。
 - b. 召会はキリストの奥義です。キリストは神の奥義です。神ご自身は宇宙の奥義です——エペソ 3:4, 9. コロサイ 2:2。
4. キリストの奥義である召会に関して、奥義のエコノミーがあります。神のエコノミーとは、神のご計画また案配であって、神の神聖な三一の中でご自身を彼の選びの民の中へと分与し、キリストのからだを生み出し、新エルサレムにおいて究極的に完成して、三一の神の永遠の団体の表現とならせることです。宇宙には偉大な奥義があります。この事よりも偉大で、重要な事はありません—— 9 節. エペソ 1:22-23. 4:16. 啓 21:2, 10-11。